



としょかんだより

令和5年12月号
仁田佐古小学校図書館

じんけんしゅうかい しょうかい ほん 人権集会で紹介した本

仁田佐古小学校では、11月30日に人権集会がありました。そこで紹介された本、

『わたしがすき』は、「自分のことがすきになると、いやなことがあっても、だいじょうぶになるよ」というお話、そして『バスが来ましたよ』は、「自分に自信がもてるようになると、まわりの人の気もちにきづいて、思いやることができるよ」というお話でした。

このほかにも新しく入った本がありますので、ぜひ読んでみてください。

高学年におすすめ

No image

『キミならどう解決する？SDGs 人権編』

由井蘭健ほか：監修 誠文堂新光社

世界には、貧しい、食べものがない、差別や不平等、暴力や戦争に苦しんでいる人たちがいます。この本では、その解決策として、わたしたちにできることが紹介されています。

たとえば日本では、食べものが大量に捨てられています。世界では栄養が足りない子どもたちがいます。そこで、日本でもスーパーでの「てまえどり」や値引きして売れ残らないようにする工夫がされています。では、わたしたちにはなにができると思いますか？遠いところの話ではなく、身近なこととして考え、実行してみてくださいね！

『こころってなんだろう』 ほそかわてんてん：作・絵 講談社

わたしたちの中には「こころ」があります。でも「こころ」ってどんなものでしょう？あかちゃんがコトバをおぼえ、大きくなるにつれ「こころ」も少しずつかわっていきます。

気もちのつたえかたや、じぶんのこころとのつきあいかたもわかります。みんなによんでほしい1さつです。

No image

No image

『きらきらさがし』 新井悦子：作 岩崎書店

手にまめができるまで、毎日さかあがりをれんしゅうしているあっちゃん。でも、なかなかうまくいきません。そんなあっちゃんの手まめをみて、お母さんは「がんばっている人にはみんなきらきらじるしがあるんだよ。」とおしえてくれました。そこであっちゃんは、かぞくのきらきらじるしをさがしはじめます。ながさきべんで書かれた、とてもあたたかいお話です。

『ねずみのとうさんアナトール』 イブ・タイタス：文 童話館出版

ねずみのとうさん、アナトールは、毎日夕やみがせまると家族のために食べものをさがしに出かけます。ある日、しのびこんだ家の人たちが、ねずみのことをとても悪く思っていることを知りショックを受けます。アナトールは、人間たちから、きらわれ、けいべつされていることにたえられず、どうにかならないかと考えます。そこでアナトールがとって行動とは・・・。
あきらめることなく、自分のみちを切り開いていく物語です。



クリスマスと冬の本



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



サンタクロースがでくる本やクリスマスに関する本、季節の手芸「冬」、そり遊びの本などがあります。



「できるかな？おかたづけとおてつだい」

学校では教室をきれいにして新年をむかえる準備をしますね。冬休みには、自分の物を整理したり、大掃除のお手伝いをしてみませんか。片づけの手順を教えてくれる本もありますよ！



ふゆやす ほん 冬休みの本のかしだしについて

15日までに、いま、かりている本をすべて かえしましょう。
18日から冬休みように 5さつ、かしだします。
きまりをまもって、冬休みもたくさん本をよみましょう。